

第2次 食の安全安心の確保 成果指標

参考資料

項目	1次計画策定時 (H19年度)	1次計画最終年度 (H24年度)	目標値 (H30年度)		データソース
① 「残留農薬」について不安を感じる市民の割合	63.0%	55.7%	50%	15歳以上の回答者で、「2.残留農薬」を選択した人の割合	「熊本市食の安全安心・食育に関するアンケート調査」から
② 「食品添加物」について不安を感じる市民の割合	76.0%	63.3%	50%	15歳以上の回答者で、「5.食品添加物」を選択した人の割合	「熊本市食の安全安心・食育に関するアンケート調査」から
③ 「食品の不正（偽装）表示」について不安を感じる市民の割合	52.5%	51.6%	40%	15歳以上の回答者で、「7.食品の不正（偽装）表示」を選択した人の割合	「熊本市食の安全安心・食育に関するアンケート調査」から
④ 「輸入食品」について不安を感じる市民の割合	68.7%	65.2%	50%	15歳以上の回答者で、「6.輸入食品」を選択した人の割合	「熊本市食の安全安心・食育に関するアンケート調査」から
⑤ 食品の安全性や食品衛生に関する活動に参加している市民の割合	9.6%	8.9%	15%	「1.週に1回程度」+「2.月に1～2回程度」+「3.年に数回程度」を選択した人の割合	「熊本市食の安全安心・食育に関するアンケート調査」から
⑥ 食品を購入するたびに表示を確認している市民の割合	46.7%	40.2%	55%	15歳以上の回答者で、「1.毎回確認している」を選択した人の割合	「熊本市食の安全安心・食育に関するアンケート調査」から
⑦ 食品について安全性が高まっていると感じている市民の割合	—※	—※	50%	—	
⑧ 食事・食品等に関する正しい知識や情報を得ようと努めている市民の割合	—※※	—※※	75%	—	
⑨ 食品の安全性に関する知識があると思う市民の割合	49.7%	49.6%	60%	15歳以上の回答者で、「1.十分にあると思う」+「2.ある程度あると思う」を選択した人の割合	「熊本市食の安全安心・食育に関するアンケート調査」から

※⑦食品の安全性について不安を感じる市民の割合：77.2%（H19年アンケート結果）、70.0%（H24年アンケート結果）

※※⑧食事・食品等に関する知識や情報を公的機関から得ている市民の割合：5.8%（H19年アンケート結果）、5.4%（H24年アンケート結果）